



長門の話題

Topics

第3回楊貴妃炎の祭典

楊貴妃の里、熱く燃える

10月13日(日)、楊貴妃の里で「楊貴妃炎の祭典」が開催されました。これは、楊貴妃伝説を活用した観光客誘致や地域活性化のためのイベントで、今回で3回目を数えます。開会式に続いて、地元児童や園児による油谷太鼓、楊貴妃ミュージカルが行われました。また大陸文化との国際

交流として、日本人大学生による合唱や中国人留学生の演舞が行われました。辺りが暗くなるころ、メイソンの「火渡りの儀」が始まりました。猛烈な火炎がうす暗い夜空に立ち上り、その燃えたあとを家内安全や無病息災を祈願して渡り歩く参加者が見られました。



▲火渡りの儀のようす

▼最後は来場者全員で油谷音頭



第7回ながとお魚まつり

「仙崎ぶとイカ」旬宣言！

9月29日(日)、仙崎市場で第7回ながとお魚まつりが開催されました。

開会式ではまず、仙崎に水揚げされるケンサキイカが旬を迎えたことが宣言されました。これは、水揚げされたケンサキイカを3人の目利きが診断し、肉が厚くなり、形も丸みを帯びてきたことから

「仙崎ぶとイカ」として旬宣言が行われたものです。

9時に販売が開始されると、来場者は魚を購入していきま

した。そのほか、魚のつかみ取りやセリ体験、マグロ解体実演、お楽しみ抽選会なども行われ、会場はたくさんの人でにぎわいました。



▲仙崎ぶとイカの旬宣言を行う藤田昭夫県漁協長門統括支店運営委員長

▼魚の直売は多くの人が魚を買い求めた



深川小学校児童が棧敷集會

表現し、夢を語り、歌う

10月17日(木)、赤崎神社棧敷で深川小学校児童による棧敷集會が開催されました。この集會は、お互いの表現の良さや野外劇場のすばらしさに触れることを目的に毎年開かれているものです。集會では、学年ごとに合唱を行いました。発表の途中で

は「深川っ子のゆめ」として、各学年の代表児童が自分の将来の夢を話しました。宇宙飛行士やお医者さん、アイドルになりたい、とそれぞれの思いをみんなに話しました。自然の音響効果のある棧敷に子どもたちの大きな声が響きました。



▲深川小学校全校生徒約560人が参加

全国障害者スポーツ大会で金メダル

パーフェクトを目指したい

10月17日(木)、第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」に出場した上永達也さんが大西市長に金メダルの報告をしました。

今大会で上永さんは、フライングディスク競技に出場。10回中9回成功させ、金メダルとなりました。

▼大西市長に大会のようすを報告



農業スタイルコレクション開催

新しい農作業服でかつこよく

10月13日(日)、ラポールゆやで「農業スタイルコレクション2013 in 長門油谷with 会津若松」が開催されました。これは、山口県立大学と安倍首相夫人の安倍昭恵さんが共同企画したものです。発表されたのは、伝統的な

「モンペッコ」、新たに開発された羽織風ジャケット「ハオリーナ」などでした。素材に会津の伝統的な生地「会津木綿」を取り入れた農作業着も披露されました。約350人の来場者は、斬新なデザインの農作業着に釘付けになっていました。

▼安倍昭恵さん(左)もモデルとして登場



長門市応急診療所が完成

地域医療を再生するために

9月29日(日)、長門市応急診療所が完成し、竣工式が行われました。

長門市応急診療所は、初期救急を担う施設として、国道191号線 長門総合病院前に建設されたもので、県が策定した地域医療再生計画に基づき整備されました。

▼竣工式のようす



人 門の長 People

美しい音色を奏で

琴のすばらしさを伝える

清祥会中道社中 **中津祥栄さん** (64)

市内で活動する芸術や文化に関する団体の成果を発表する「第58回長門市民文化祭」が、11月9日(土)、10日(日)にルネッサながとで開催されます。舞台芸術には、22組が出演予定。大正琴や琴、日本舞踊やダンス、バレエなどの発表が行われます。また、文化情報ギャラリーでは、書道や華道などの展示。ロビーでは、フリーマーケットが行われます。

9日(土)にルネッサながと「劇場」において琴の演奏を披露する清祥会の中津祥栄さんは、1年間の成果を発表する文化祭へ向け、稽古の総仕上げに入っています。

自然と始めていた琴
35年前にお茶やお花を習っていた当時の先生が琴も教えていたので、自然と琴を習うようになりました。いちばんの魅力は、その音色。悪さに弾いても素敵な音のする琴に、今もなお夢中です。

師の人柄が集まる仲間

稽古は、週1回。約30人が、日替わりで稽古場に集まり稽古に励んでいます。明るく笑顔の絶えない優しい人柄の中道清祥さんのもと、その人柄と琴の音色に心癒されながら指導を受けています。

琴の音色を広めたい

「譜面どおりではなく、曲の持つイメージや景色を表現できれば」と高みを目指します。また、「聞いている人に琴の音色のすばらしさを伝えたい」と話し、「今後学校などで出前講座を開いて琴に触れてもらいたい」と意欲的です。

次世代へ琴をつなぐ伝道師として中津さんは、これからその音色を奏で続けます。



無農薬米の刈り取り式

成長への第一歩を踏み出す

9月30日(月)、「ながと成長戦略」で取り組んでいる無農薬米の刈り取り式が行われました。これは、農薬や肥料・除草剤などを一切使わず「稲」と「土」が持つ本来の自然の力が発揮できるように、休耕田で栽培した米の初めての収穫となったものです。

大西市長や大津緑洋高校設置校舎の生徒15人が地元関係者といっしょに田に入り、少しぬかるんだ土に苦勞しながら刈り取りを行いました。

この自然栽培米は、油谷後畑の棚田で栽培されたもので、品種は「ひとめぼれ」と「きぬむすめ」です。



▲刈り取った稲穂を背に記念撮影

三隅支所が三隅保健センター内に移転

これまでも、これからも

10月15日(火)、三隅支所が三隅保健センターに移転し、業務を開始しました。

三隅支所の旧庁舎は、三隅町役場のころより53年間、三隅地区行政の拠点として地区住民に親しまれてきましたが老朽化が進み、このたびの移転となりました。

▼広いロビーが特徴の「新」三隅支所



食のワークショップ、開催

すばらしい食材を活かして

10月17日(木)、三隅保健センターで「ながと成長戦略」の第2弾「食のワークショップ」が開催されました。

市では、9月に策定・公表を行った「ながと成長戦略行動計画」の中で、高付加価値化を目指すとう地元食材の持ち味や食べ方、料理方法など

を徹底的に明らかにする「テキスト化」に取り組みます。

このワークショップは料理研究家の馬場香織さんの指導のもと開催。地元農林漁業女性グループなど約30人が、馬場さんのレシピをもとに料理を再発見しました。

▼「ながと成長戦略検討会議」のメンバーであり、食環境ジャーナリストの金丸弘美さん(前列手前)が企画



油谷小学校建設地で起工式

安全な工事を祈って

9月27日(金)、油谷小学校建設地で油谷小学校改築工事の起工式と安全祈願祭が行われました。油谷小学校改築工事は、市有林のヒノキやスギが使われる予定で、校舎は2階建ての鉄筋コンクリート造となります。来年8月には新しい校舎が竣工する予定です。

